

第2学年防災教育学習指導案（総合的な学習の時間）

1 単元名 「災害と向き合い、家庭や地域の力になる」（全3時間＋数時間）

2 単元設定の理由

近年、様々な自然災害が頻繁に発生し日本各地で大きな被害が出ている。本市も、平成30年7月豪雨において真備地区を中心に甚大な被害を受けた。いつ、どこで、何が起きるか予測が難しい現代社会では、常に災害の危険と隣り合わせで過ごしている。それは、地域社会で生活する生徒も同じである。そういった社会情勢の中で、平成30年7月豪雨の教訓を生かし、子どもたちが災害を自分事として捉え、「自らの命は自ら守る」という防災意識の向上と、災害時に生かすことができる実践力を身に付けることを目指し、令和2年度から全市立小学校において授業としての防災教育を新たに始めた。

小学校では、地域で起こりうる災害のリスクや、避難行動・避難場所の確認、通学路の防災安全マップの作成、洪水・土砂災害に備えたマイ・タイムラインの作成を通じて、家族と共に考え学び、防災意識を高め、実践力を身に付けてきた。この身に付けた力が小学校までの学習で終わることのないよう、学校教育において継続し、さらに高めていく必要があると考える。

そこで、中学校では、過去の災害を振り返り、今後発生が想定される災害への備えについて「自助」に加えて、「共助」の視点で考えることができるように単元を設定した。中学生という発達段階を踏まえ、知識や技能を獲得するだけの学習に終わることなく、生徒自身が、「家族や地域のために自分たちに何ができるのか」を考え、自主的・主体的な学習ができるようにしていく。

また、家庭や地域への発信や連携を行うために、市の防災危機管理室や河川事務所等、関係機関とも協力して様々な活動ができるよう工夫し、中学生が災害を自分事として向き合い、「共助」の視点で家庭や地域の力となることができるようにしたい。

3 単元目標

過去の災害を振り返りながら自分事として捉えるとともに、「自助」に加えて「共助」の視点で自分たちにできることを考え、実践することを通して、地域社会の一員としての自覚を高め、家族や地域のために主体的・協働的に行動し、社会に参画しようとする態度を育むことができるようにする。

4 単元で育てようとする資質や能力及び態度

知識及び技能	過去の災害から地域の災害リスクを知り、防災に関する正しい知識や適切な避難行動についての理解を深め、災害時に自ら命を守るための行動ができる実践力を身に付けることができるようにする。
思考力・判断力・表現力等	地域の実態や災害リスクを踏まえて、家庭や地域のために自分たちにできることについて考え、課題を設定し、必要な情報を集め、整理・分析し、まとめ、発信することができるようにする。
学びに向かう力・人間性等	探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、地域社会の一員としての自覚を高め、積極的に家庭や地域とつながりを持ち、社会に参画しようとする態度を養う。

5 単元の評価規準

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>過去の災害に関する資料や、学区のハザードマップ等の情報を分析し、学区の実態や地域の災害リスクについて理解している。</p> <p>災害時に自らの命を守るために必要な知識や、適切な避難行動を取ることができる実践力を身に付けている。</p>	<p>学区の実態や災害リスクを踏まえ、「自助」の視点だけでなく、「共助」の視点をもち、家庭や地域の力となることを考えている。</p> <p>自分たちで考えた活動に取り組むために必要な情報を集め、整理・分析し、形式や方法を考えながら、家庭や地域で発信したり、実践したりする力を身に付けている。</p>	<p>学んだ知識や技能を生かし、今後起こりうる災害への備えをしようとしている。</p> <p>防災に関する学習に主体的・協働的に取り組むとともに、地域社会の一員としての自覚を高め、家庭で率先して防災について話し合ったり、地域の防災活動や防災訓練に積極的に参加したり、社会に参画しようとしている。</p>

6 指導計画

テーマ 時数	主な学習活動	指導上の留意点	時間
災害と向き合い、家庭や地域の力となる (3時間+数時間)	<p>○ 地域の災害リスクを知り、災害時に自ら命を守るための適切な避難行動について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 過去の災害を振り返る。(※映像資料や写真、新聞記事の活用等、実態に合わせて) ハザードマップ等を用いて、地域の災害リスクについて考える。 自ら命を守るための方法を学び、適切な避難行動について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 過去の災害を振り返り、地域の災害リスクに目を向けさせることで、災害を自分事として捉え、防災への意識を高めることができるようにする。 	1
	<p>○ 「共助」の視点で、家庭や地域のために自分たちにできる活動を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「自助」「共助」の視点を確認する。 災害発生前、災害発生時、災害発生後に自分たちにできる活動を考える。 活動が決定したら、活動の進め方について計画を立てる。 <p>(※自分たちにできる活動を考える前に、倉敷市防災危機管理室の出前講座や被災者による語り部の会、講演会等を設定し、活動に対する意欲を高めてもよい)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今後の災害に備えて、防災・減災の視点で考えさせることで、「自助」だけでなく、「共助」の視点の重要性に気付かせ、自分のことだけでなく家庭や地域のためにできる活動にも意識が向くようにする。 取り組む活動については、生徒の自主的・主体的な姿勢を大切にしながら、実現可能なものかどうか内容を吟味し、設定するようにする。 	1

	<p>○ 「共助」の視点で考えた、自分たちにできる活動を計画に沿って実践する。 (※活動形態は、学校の実態に応じて設定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域防災安全フィールドワーク・現地学習 ・ 防災安全マップ作成 ・ ポスターやチラシ等の掲示物での地域や家庭への発信 ・ オンライン教材の開発や発信 ・ 出前授業や出前講座 ・ 異校種との合同避難訓練や地域の自主防災組織と連携した防災訓練 ・ 体験活動（避難所運営・炊き出し等） ・ 関係機関や団体、消防団、自主防災組織と連携・協力した地域参画 ・ 要配慮者への支援活動 ・ SDGs と関連付けた活動 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭や地域への発信・つながりを意識させ、自分たちの行動が家庭や地域の力になることに気付かせることで、自主的・主体的に活動に取り組むことができるようにする。 ・ 学校だけでは難しい活動については、各関係機関や専門機関等と協力・連携しながら進めていくようにする。 	1～
	<p>○ 活動報告会を行い、学習のまとめをする。 (※出前講座や体験活動のみを行った場合や、学年全員で同じ活動を行った場合は、活動報告会を意見交流会等に変更して行う)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取り組んできた活動について、資料や制作物を用いて発表する。 ・ これからの防災に対する自分たちの行動について考え、話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒が自主的・主体的に取り組んできたことを認めることで、今後も防災意識の継続や、地域社会の一員としての自覚をもち続けることができるようにする。 	1

- ※ 指導計画の時間数については、各学校の実態に合わせて調整してもよい。
- ※ 校外行事（震災学習、防災・減災学習等）と関連付けて指導してもよい。
- ※ 「総合的な学習の時間」だけでなく他教科と関連付けて指導してもよい。

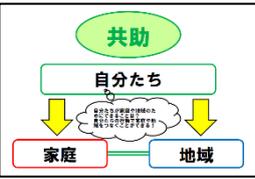
7 本時案

(第1時)

<p>目 標</p>	<p>過去の災害に関する資料や、学区のハザードマップ等の情報を分析し、「自助」の視点で災害時に自らの命を守るために必要な知識や、適切な避難行動を取ることができる実践力を身に付けることができる。</p>	
<p>学習活動</p>	<p>指導上の留意点</p>	<p>教材</p>
<p>1 過去の災害について振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 映像資料や写真、その他の資料を提示することで、過去の災害についてどのようなことがあったのか確認できるようにする。(阪神・淡路大震災、東日本大震災、平成30年7月豪雨等) ○ 過去の災害を振り返ることで、災害を他人事ではなく自分事として捉え、防災学習への意欲を高めることができるようにする。 	<p>【過去の災害】</p>  <p>阪神・淡路大震災</p>  <p>東日本大震災</p>  <p>平成30年7月豪雨</p>
<p>※被災経験のある生徒が在籍している等、配慮が必要な場合は、取り扱う資料を精選したり、別の活動に切り替えたりする等、各学校の実態に合わせて柔軟な対応を行うようにする。</p>		
<p>地域で起こりうる災害に対して、自分たちの命を守るための行動や備えについて考えよう。</p>		
<p>2 地域の災害リスクを把握する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域における過去の災害の経験や、倉敷市の各種ハザードマップの資料を提示することで、自分の住む地域の災害リスクについて考えられるにする。 ○ ハザードマップの見方を確認し、詳しく分析することで、地域の災害リスクを把握するとともに、災害をより身近な自分事として捉えることができるようにする。 	<p>【倉敷市ハザードマップ】</p>  <p>洪水・土砂災害</p>  <p>津波</p>
<p>※用水路が多い学区については、河川の外水氾濫だけでなく、用水路や地下水からの内水氾濫も起きる可能性があることにもふれるようにする。また、ハザードマップ上では洪水や土砂災害、高潮、津波、内水氾濫等の災害リスクが低い学区については、地震や台風等、どの地域でも想定される災害や、ハザードマップの想定を超える災害が起こりうることも踏まえて指導するようにする。</p>		
<p>3 「自助」の視点で、自分の命を守るための備えや避難行動について考え、話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自助」の視点を確認することで、災害を自分事として捉え、「自分の命は自分で守る」という意識をもたせながら、実際の災害を想定して考えることができるようにする。 	 <p>内水</p>
<p>※想定する災害については、災害リスクを考慮して設定するようにする。 (例：浸水想定区域に立地する学校→洪水想定 沿岸部に立地し津波のリスクがある学校→地震・津波) また、可能であれば2つ以上取り上げてよい。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「必要な情報」「備え」「避難行動」の3つを視点として提示することで、整理しながら考えることができるようにする。 		
<p>【自助・共助・公助】</p>  <p>自助 自らの安全は自らを守る</p> <p>共助 近所や地域住民など、地域で協力し助け合う</p> <p>公助 消防団、消防隊など、行政や民間組織による援助</p>		

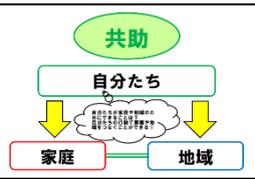
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報（どのような情報が必要か） ・ 備え（日頃の備え・災害発生直前の備え） ・ 避難行動（災害発生前・発生時・発生後） <p>○ 視点ごとに分類・整理しながら板書に位置付けていくことで、時系列ですべき備えと避難行動について捉えることができるようにする。</p> <p>○ 板書に位置付けた備えや避難行動について全体で確認することで、生徒一人一人が正しい知識や技能を身に付けることができるようにする。</p> <p>○ タブレットを活用して必要な情報を取得したり、実際に動いて避難行動をとったりすることで、より実践的な力を身に付けることができるようにする。</p>	<p>【自分の命を自分で守るために（自助）】</p> <table border="1" data-bbox="1173 347 1428 705"> <tr> <td colspan="2">自分の命を自分で守るために（自助）</td> </tr> <tr> <td>想定災害</td> <td></td> </tr> <tr> <td>必要な情報</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">備え</td> <td>日頃</td> </tr> <tr> <td>発生直前</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">避難行動</td> <td>発生前</td> </tr> <tr> <td>発生時</td> </tr> <tr> <td>発生後</td> </tr> </table>	自分の命を自分で守るために（自助）		想定災害		必要な情報		備え	日頃	発生直前	避難行動	発生前	発生時	発生後
自分の命を自分で守るために（自助）															
想定災害															
必要な情報															
備え	日頃														
	発生直前														
避難行動	発生前														
	発生時														
	発生後														
<p>※必要な備えや適切な避難行動に関する知識や技能について、河川事務所や市の防災危機管理室等、専門家をゲストティーチャーとして招いて話を聞いてもよい。</p>															
<p>4 本時の学習のまとめをする。</p> <p>5 本時の学習を振り返る。</p> <p>6 次時の学習について知る。</p>	<p>○ 板書をもとに、本時の学習で大切なことを確認することで、まとめることができるようにする。</p> <p>○ 本時の学習を振り返り、災害時には、まず「自分の命は自分で守る」ことの重要性を伝え、自ら判断して行動することが大切であることを伝えるようにする。</p> <p>○ 学んだことを家庭で話し合ったり、共有したりすることで、家族の防災意識も高めることができることに気付くことができるようにする。</p> <p>○ 次時は、「共助」の視点で、家庭や地域のためにできることを考える活動を行うことを知らせ、家族にどのような助けや支援が必要かを事前に調査してくるようにする。</p>														
<p>評 価</p>	<p>過去の災害に関する資料や、学区のハザードマップ等の情報を分析し、「自助」の視点で災害時に自らの命を守るために必要な知識や、適切な避難行動を取ることができる実践力を身に付けている。</p> <p style="text-align: right;">【知識・技能】（発言・ワークシート）</p>														

(第2時)

<p>目 標</p>	<p>これまで学んだ知識や技能を生かし、「共助」の視点で、家庭や地域のために自分たちにできることを考えることができる。</p>													
<p>学習活動</p>	<p>指導上の留意点</p>	<p>教材</p>												
<p>1 ここまで学習してきたことを確認し、本時のめあてをつかむ。</p>	<p>○ 前時の学習内容を想起させ、振り返ることで、防災学習への意識を高めるとともに、本時の学習内容へとつなげることができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 過去の災害 各種ハザードマップ 地域の災害リスク 「自助」の備えや避難行動 <p>○ 「自助」「共助」「公助」の視点を確認することで、自分の命を守る「自助」が一番大切であることを伝えるとともに、自分以外の他者の命や安全にも意識を向けさせ、本時は「共助」の視点で自分たちにできることを考えることができるようにする。</p>	<p>【自分の命を自分で守るために（自助例）】</p>  <p>【自助・共助・公助】</p> 												
<p>地域で災害が起きた時、「共助」の視点で、家庭や地域のために自分たちにできることを考えよう。</p>														
<p>2 「共助」の視点で、自分たちにできることを考え、話し合う。</p> <p>3 「共助」の視点で、自分たちにできることを決定し、活動の計画を立てる。</p>	<p>○ 最終的に家庭や地域への発信・連携することを想定しておくことで、具体的な案を考えることができるようにする。</p> <p>○ 自分たちにできることを「災害発生前」「災害発生時」「災害発生後」等に分けて考えさせることで、「いつ」「誰に」「どのような」支援ができるかを具体的にイメージすることができるようにする。</p> <p><想定される活動・体験></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域防災安全フィールドワーク 防災安全マップ作成 ポスターやチラシ等の掲示物での地域や家庭への発信 オンライン教材の開発、発信 出前授業・出前講座 異校種との合同避難訓練や地域の自主防災組織と連携した防災訓練 体験活動（避難所運営・炊き出し等） 関係機関や団体、消防団、自主防災組織と連携した地域参画 要配慮者への支援活動 SDG s と関連付けた活動 等 <p>○ 考えを板書に分類・整理しながら位置付けていくことで、全体で共有できるようにする。</p> <p>○ 言葉だけでは分かりづらいことは、教師が問い直しをしたり、生徒に補足説明をするよう促</p>	<p>【共助のイメージ】</p>  <p>【家庭や地域のためにできること（共助）】</p> <table border="1" data-bbox="1173 1344 1428 1512"> <thead> <tr> <th></th> <th>家庭</th> <th>地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発生前</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>発生時</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>発生後</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		家庭	地域	発生前			発生時			発生後		
	家庭	地域												
発生前														
発生時														
発生後														

	<p>したりすることで、全員が具体的な活動のイメージを共有することができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 考えた活動について確認し、検討させることで、実際に可能な活動かどうか考えることができるようにする。 ○ 取り組む活動を決定し、実現に向けた具体的な計画を話し合い、必要に応じてグループ分けや役割分担等を行うようにする。 	<p style="text-align: center;">【活動計画書】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="font-size: small;"><活動計画書> () 紐 () 冊 巻頭 ()</p> <p>活動日</p> <p>活動のねらい</p> <p>活動の経緯(実施内容や活動の様子等)</p> <p>活動の振り返り</p> </div>
<p>※取り組む活動については、各学校の実情に即して内容や数を吟味し、決定するようにする。また、出前講座や体験活動等を行う場合は、各関係機関や専門機関と連携し、打ち合わせ等を行い、計画を立てるようにする。</p> <p>活動の実施形態については、学年、学級、少人数のグループ等、各学校の実態に応じて検討し、決定するようにする。</p>		
<p>5 本時の学習を振り返る。</p> <p>6 次時の学習について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 板書をもとに、本時の学習で大切なことを確認することで、まとめることができるようにする。 ○ 本時の学習を振り返り、災害の被害を最小限にするためには、「共助」の視点が大切であることと、家庭や地域のために自分たちにもできることがあることに気付くことができるようにする。 ○ 次時は、考えた活動を実践したり、出前講座や体験活動を行ったりすることを知らせる。 	
<p>評価</p>	<p>これまで学んだ知識や技能を生かし、「共助」の視点で、家庭や地域のために自分たちにできることを考えている。</p> <p style="text-align: right;">【思考・判断・表現】 (発言・ワークシート)</p>	

(体験的な学習を含めた実践)

<p>目 標</p>	<p>自分たちで考えた活動に取り組むために、必要な情報を集め、整理・分析し、形式や方法を考えながら、家庭や地域で発信したり、実践したりすることができる。</p>													
<p>学習活動</p>	<p>指導上の留意点</p>	<p>教材</p>												
<p>1 ここまで学習してきたことを確認し、本時のめあてをつかむ。</p>	<p>○ 前時までの学習内容を想起させ、振り返ることで、防災学習への意識を継続させるとともに、本時の学習内容へとつなげることができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「自助」「共助」「公助」の視点の確認 ・ 「共助」として自分たちにできる活動 <p>○ 自分たちの行動が他者の助けになることを意識させることで、本時は実際に自分たちが考えた活動や、出前講座・体験活動を意欲的に行うことができるようにする。</p>	<p>【自助・共助・公助】</p>  <p>【共助のイメージ】</p> 												
<p>「共助」の視点で、家庭や地域の力になるために、自分たちにできることを実践しよう。</p>														
<p>2 取り組む活動の確認や事前の説明をする。</p>	<p>○ 活動の内容を確認したり、進め方を説明したりすることで、生徒一人一人が自分の役割をもって自主的・主体的に取り組むことができるようにする。</p> <p>○ 出前講座や体験活動等を行う場合は、その目的や意味、災害時にどのような活動につながるのかを明確にして活動に取り組むようにする。</p>	<p>【家庭や地域のためにできること（共助例）】</p> <table border="1" data-bbox="1173 884 1428 1064"> <thead> <tr> <th></th> <th>家庭</th> <th>地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発生前</td> <td>・災害時の危険箇所や避難場所を確認し、家族全員で避難計画を立てる。 ・家族の防災意識を高め、防災グッズの準備や点検を行う。 ・地域の防災マップや防災情報を知り、地域の防災活動に参加する。</td> <td>・地域の防災マップや防災情報を知り、地域の防災活動に参加する。 ・地域の防災マップや防災情報を知り、地域の防災活動に参加する。</td> </tr> <tr> <td>発生前</td> <td>・災害時の危険箇所や避難場所を確認し、家族全員で避難計画を立てる。 ・家族の防災意識を高め、防災グッズの準備や点検を行う。 ・地域の防災マップや防災情報を知り、地域の防災活動に参加する。</td> <td>・地域の防災マップや防災情報を知り、地域の防災活動に参加する。 ・地域の防災マップや防災情報を知り、地域の防災活動に参加する。</td> </tr> <tr> <td>発生前</td> <td>・災害時の危険箇所や避難場所を確認し、家族全員で避難計画を立てる。 ・家族の防災意識を高め、防災グッズの準備や点検を行う。 ・地域の防災マップや防災情報を知り、地域の防災活動に参加する。</td> <td>・地域の防災マップや防災情報を知り、地域の防災活動に参加する。 ・地域の防災マップや防災情報を知り、地域の防災活動に参加する。</td> </tr> </tbody> </table>		家庭	地域	発生前	・災害時の危険箇所や避難場所を確認し、家族全員で避難計画を立てる。 ・家族の防災意識を高め、防災グッズの準備や点検を行う。 ・地域の防災マップや防災情報を知り、地域の防災活動に参加する。	・地域の防災マップや防災情報を知り、地域の防災活動に参加する。 ・地域の防災マップや防災情報を知り、地域の防災活動に参加する。	発生前	・災害時の危険箇所や避難場所を確認し、家族全員で避難計画を立てる。 ・家族の防災意識を高め、防災グッズの準備や点検を行う。 ・地域の防災マップや防災情報を知り、地域の防災活動に参加する。	・地域の防災マップや防災情報を知り、地域の防災活動に参加する。 ・地域の防災マップや防災情報を知り、地域の防災活動に参加する。	発生前	・災害時の危険箇所や避難場所を確認し、家族全員で避難計画を立てる。 ・家族の防災意識を高め、防災グッズの準備や点検を行う。 ・地域の防災マップや防災情報を知り、地域の防災活動に参加する。	・地域の防災マップや防災情報を知り、地域の防災活動に参加する。 ・地域の防災マップや防災情報を知り、地域の防災活動に参加する。
	家庭	地域												
発生前	・災害時の危険箇所や避難場所を確認し、家族全員で避難計画を立てる。 ・家族の防災意識を高め、防災グッズの準備や点検を行う。 ・地域の防災マップや防災情報を知り、地域の防災活動に参加する。	・地域の防災マップや防災情報を知り、地域の防災活動に参加する。 ・地域の防災マップや防災情報を知り、地域の防災活動に参加する。												
発生前	・災害時の危険箇所や避難場所を確認し、家族全員で避難計画を立てる。 ・家族の防災意識を高め、防災グッズの準備や点検を行う。 ・地域の防災マップや防災情報を知り、地域の防災活動に参加する。	・地域の防災マップや防災情報を知り、地域の防災活動に参加する。 ・地域の防災マップや防災情報を知り、地域の防災活動に参加する。												
発生前	・災害時の危険箇所や避難場所を確認し、家族全員で避難計画を立てる。 ・家族の防災意識を高め、防災グッズの準備や点検を行う。 ・地域の防災マップや防災情報を知り、地域の防災活動に参加する。	・地域の防災マップや防災情報を知り、地域の防災活動に参加する。 ・地域の防災マップや防災情報を知り、地域の防災活動に参加する。												
<p>※出前講座や体験活動等を行う場合は、事前に学校と関係機関で打ち合わせた内容に沿って活動を行うようにする。</p>														
<p>3 計画に沿って、自分たちが考えた活動に取り組む。</p>	<p>○ 活動が終わり次第、活動の振り返りを行い、活動報告会での発表内容や、役割分担等についてグループで話し合うことを伝えておくようにする。</p> <p>○ 活動の進捗状況を適宜確認し、必要に応じて助言したり称揚したりすることで、活動への意欲をさらに高めるとともに、協働的な学びのよさも実感できるようにする。</p>													
<p>※家庭や地域への発信や連携については、計画の段階で発信や連携の時期や方法を相手先と打ち合わせておくようにする。</p> <p><例> 家庭や地域への製作物の配付 公共施設等での製作物の展示・掲示 オンライン会議・配信 現地での発表会・支援活動・訓練活動 等</p>														
<p>4 本時の学習のまとめをする。</p>	<p>○ 活動内容をもとに、本時の学習で大切なことを確認することで、まとめることができるようにする。</p>													

5 本時の学習を振り返る。	○ 本時の学習を振り返り、自分たちにも家庭や地域のためにできることがあることを実感するとともに、自分たちが発信したり、実践したりすることで、誰かを助けることにつながっていることに気付くことができるようにする。	
6 次時の学習について知る。	○ 次時は、学習のまとめとして活動報告会を行うことを知らせる。	
評 価	<p>自分たちで考えた活動に取り組むために、必要な情報を集め、整理・分析し、形式や方法を考えながら、家庭や地域で発信したり、実践したりすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】(行動・発言・ワークシート)</p>	

(第3時：まとめ)

<p>目標</p>	<p>活動報告会を行い、自分たちが取り組んできた活動について互いに共有するとともに、これからの自分たちの防災に関する行動について話し合うことで、地域社会の一員としての自覚を高め、家庭や地域と積極的につながりをもとうとしたり、社会に参画しようとしていたりしている。</p>																
<p>学習活動</p>	<p>指導上の留意点</p>	<p>教材</p>															
<p>1 ここまで学習してきたことを確認し、本時のめあてをつかむ。</p>	<p>○ 前時までの学習内容を想起させ、振り返ることで、防災学習への意識を高めるとともに、本時の学習内容へとつなげることができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「自助」「共助」「公助」の視点の確認 「自助」の備えや避難行動 「共助」の活動や出前講座・体験活動 <p>○ 本時は報告会という形で発表したり、プレゼンしたりすることで、自分たちが取り組んだ活動や出前講座、体験活動について互いに共有することができるようにする。</p>	<p>【自助・共助・公助】</p>  <p>【自分の命を自分で守るために（自助例）】</p> <table border="1" data-bbox="1173 728 1428 1064"> <thead> <tr> <th>想定災害</th> <th>洪水</th> <th>地震・津波</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要情報</td> <td>・居住地域に関する情報 ・川や海に近接している場所 ・避難場所の場所、避難経路 ・避難時の連絡手段</td> <td>・居住地域に関する情報 ・避難場所の場所、避難経路 ・避難時の連絡手段</td> </tr> <tr> <td>自助例</td> <td>・事前準備：事前準備として、居住地域に関する情報を収集し、避難場所や避難経路を確認する。 ・避難行動：避難時には、事前に確認した避難場所や避難経路を利用し、安全に避難する。</td> <td>・事前準備：事前準備として、居住地域に関する情報を収集し、避難場所や避難経路を確認する。 ・避難行動：避難時には、事前に確認した避難場所や避難経路を利用し、安全に避難する。</td> </tr> <tr> <td>共助例</td> <td>・事前準備：事前準備として、居住地域に関する情報を収集し、避難場所や避難経路を確認する。 ・避難行動：避難時には、事前に確認した避難場所や避難経路を利用し、安全に避難する。</td> <td>・事前準備：事前準備として、居住地域に関する情報を収集し、避難場所や避難経路を確認する。 ・避難行動：避難時には、事前に確認した避難場所や避難経路を利用し、安全に避難する。</td> </tr> <tr> <td>公助例</td> <td>・事前準備：事前準備として、居住地域に関する情報を収集し、避難場所や避難経路を確認する。 ・避難行動：避難時には、事前に確認した避難場所や避難経路を利用し、安全に避難する。</td> <td>・事前準備：事前準備として、居住地域に関する情報を収集し、避難場所や避難経路を確認する。 ・避難行動：避難時には、事前に確認した避難場所や避難経路を利用し、安全に避難する。</td> </tr> </tbody> </table>	想定災害	洪水	地震・津波	必要情報	・居住地域に関する情報 ・川や海に近接している場所 ・避難場所の場所、避難経路 ・避難時の連絡手段	・居住地域に関する情報 ・避難場所の場所、避難経路 ・避難時の連絡手段	自助例	・事前準備：事前準備として、居住地域に関する情報を収集し、避難場所や避難経路を確認する。 ・避難行動：避難時には、事前に確認した避難場所や避難経路を利用し、安全に避難する。	・事前準備：事前準備として、居住地域に関する情報を収集し、避難場所や避難経路を確認する。 ・避難行動：避難時には、事前に確認した避難場所や避難経路を利用し、安全に避難する。	共助例	・事前準備：事前準備として、居住地域に関する情報を収集し、避難場所や避難経路を確認する。 ・避難行動：避難時には、事前に確認した避難場所や避難経路を利用し、安全に避難する。	・事前準備：事前準備として、居住地域に関する情報を収集し、避難場所や避難経路を確認する。 ・避難行動：避難時には、事前に確認した避難場所や避難経路を利用し、安全に避難する。	公助例	・事前準備：事前準備として、居住地域に関する情報を収集し、避難場所や避難経路を確認する。 ・避難行動：避難時には、事前に確認した避難場所や避難経路を利用し、安全に避難する。	・事前準備：事前準備として、居住地域に関する情報を収集し、避難場所や避難経路を確認する。 ・避難行動：避難時には、事前に確認した避難場所や避難経路を利用し、安全に避難する。
想定災害	洪水	地震・津波															
必要情報	・居住地域に関する情報 ・川や海に近接している場所 ・避難場所の場所、避難経路 ・避難時の連絡手段	・居住地域に関する情報 ・避難場所の場所、避難経路 ・避難時の連絡手段															
自助例	・事前準備：事前準備として、居住地域に関する情報を収集し、避難場所や避難経路を確認する。 ・避難行動：避難時には、事前に確認した避難場所や避難経路を利用し、安全に避難する。	・事前準備：事前準備として、居住地域に関する情報を収集し、避難場所や避難経路を確認する。 ・避難行動：避難時には、事前に確認した避難場所や避難経路を利用し、安全に避難する。															
共助例	・事前準備：事前準備として、居住地域に関する情報を収集し、避難場所や避難経路を確認する。 ・避難行動：避難時には、事前に確認した避難場所や避難経路を利用し、安全に避難する。	・事前準備：事前準備として、居住地域に関する情報を収集し、避難場所や避難経路を確認する。 ・避難行動：避難時には、事前に確認した避難場所や避難経路を利用し、安全に避難する。															
公助例	・事前準備：事前準備として、居住地域に関する情報を収集し、避難場所や避難経路を確認する。 ・避難行動：避難時には、事前に確認した避難場所や避難経路を利用し、安全に避難する。	・事前準備：事前準備として、居住地域に関する情報を収集し、避難場所や避難経路を確認する。 ・避難行動：避難時には、事前に確認した避難場所や避難経路を利用し、安全に避難する。															
<p>※出前講座や体験活動のみを行った場合や、学年全員で同じ活動を行った場合は、活動報告会を意見交流会等に変更して行うようにする。</p>																	
<p>自分たちが取り組んだ活動を互いに共有し、これからの防災について考えよう。</p>																	
<p>2 活動報告会を行う。</p>	<p>○ 「なぜ、活動報告会を行うのか。」と問うことで、ねらいを明確にし、目的意識をもって活動報告会を行うことができるようにする。</p> <p>○ 活動報告会の流れについて事前に説明しておくことで、円滑に進行できるようにする。</p>	<p>【共助活動・体験（例）】</p> <p>活動・体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域防災安全フィールドワーク・現地学習会 ○ 地域防災安全マップ作成 ○ 防災に関する図解やイラストの作成・配付 ○ 防災に関する提示物の作成、公共施設等への掲示・展示 ○ 防災に関するオンライン教材・動画の作成・配付 ○ 避難所運営体験 ○ 炊き出し・防災食体験 ○ 災害ボランティア体験 ○ 防災出前講座 															
<p>※活動報告会の仕方については、様々な形が考えられるので、各学校の実態に合わせて方法、場所、時間等、適切に設定するようにする。</p>																	
<p>3 これからの防災に関する自分たちの行動について話し合う。</p>	<p>○ それぞれの発表について、生徒が意見や感想を述べたり、教師が称揚したりすることで、一人一人の努力を認め、防災意識が継続できるようにする。</p> <p>○ これまでの学習を改めて振り返ることで、災害を自分事として捉え、これからの防災に関する自分たちの行動について考えることができるようにする。</p> <p>○ これからの自分たちの行動について考えたことを「自助」「共助」の視点で分類・整理することで、行動の目的や対象を明確にすることができるようにする。</p> <p>○ 「共助」の視点に重点を置くようにすることで、自主的・主体的に家庭や地域とつながりを持ち、進んで関わろうとする意欲を高めることができるようにする。</p>	<p>【これからの防災（例）】</p> <p>自助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時に避難情報が入り次第に、避難の準備を完了し、避難場所へ避難する。 ・非常着陸帯や非常待避帯を確認し、不足しているものなどを整備する。 ・防災備蓄品のチェックや、防災用品の準備を完了させる。 ・自分の防災に備わっていないものを購入し、備蓄するなどの対策をする。 <p>共助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災について考えたことを発表し、互いに意見を交換し合う。 ・災害時には、避難所でのボランティア活動をする。 ・災害時には、避難所でのボランティア活動をする。 ・日頃から、地域の防災と関わり、地域の防災活動に参加する。 															

<p>4 本時の学習のまとめをする。</p> <p>5 これまでの学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 板書をもとに、本時の学習で大切なことを確認することで、まとめることができるようにする。 ○ 「自助」「共助」の2つの視点で、「防災行動宣言」という形で宣言し、これからの自分の行動について実践する意欲を高めることができるようにする。 ○ これまでの学習を振り返り、学んだことを自分の中だけで留めておくのではなく、他者に発信したり、関わったりする行動を起こすことが家庭や地域の力になり、地域全体の防災力の向上につながることに気付くことができるようにする。 ○ これまで学習してきたことを家庭で率先して話し合ったり、地域の防災活動や防災訓練に積極的に参加したりするよう促すことで、地域社会の一員としての自覚を高めるとともに、地域に参画することの必要性和重要性に気付くことができるようにする。 ○ これまでの学習で身に付けた知識や実践力を生かし、これからの災害に備えるとともに、自分や家族、地域の人々の命を守るためのよりよい方法や、防災のためにできる取組について考え実践し続けていくことと、家庭や地域が手を取り合って助け合っていくことが大切であることに気付くことができるようにする。 	
<p>評 価</p>	<p>活動報告会を行い、自分たちが取り組んできた活動について互いに共有するとともに、これからの自分たちの防災に関する行動について話し合うことで、地域社会の一員としての自覚を高め、家庭や地域と積極的につながりをもとうとしたり、社会に参画しようとしていたりしている。</p> <p style="text-align: right;">【主体的に学習に取り組む態度】(発言・ワークシート)</p>	